

# 新山協ニュース

△ 発行者 井出秀雄 △ 発行所 新潟県山岳協会  
〒940 長岡市学校町3-11-7 藤井 信方 TEL 0258-32-4835

## 米山・昔と今

柏崎山岳会

柏合哲郎

米山の開山縁起を、ひとくさり。江戸中期、越後地誌の先駆けと目される「越後名寄」をひも解くと

「頂に薬師堂アリ、山に当婦ヲ生ス、上品ナリ、当山縁起云、人王四十三代、元明皇帝和銅五年、越前泰澄禪師登是嶺、安置薬師仏、時ニ出羽国ノ住人神部清定ト云者上米ヲ積テ北海ヲ渡ル、泰澄ノ沙弥鉢ヲ飛シテ供米ヲ乞フ、清定曰、是ハ数定有ルユヘ供養シ難シト、沙弥鉢空シク山ニ帰ル、時ニ船中ノ米雁ノ飛如クニ相連テ山ニ飛来タル、此山初シメ五輪山ト云シヲ、是時ヨリ米山ト改名ス、清定上米ヲ納テ後ニ、泰澄禪師ニ謁シテ落髪シ、名ヲ淨定行者ト云、山足ニ鉢崎ノ里アリ、是沙弥鉢ヲ飛スノ浦ナリト、一説ニ曰、山中水田多クシテ能ク米ヲ生ズ、故ニ米山ト名ヅクト、此説是ナリ、仏徒ノ邪説ニ迷フ可カラズ、絶頂ヨリ少シ下ニツルベ落シテ云所アリ、七、八間バカリアリ、此

所岩石崩シカカリ、左右ノ溪谷ハ深サ何百丈ナルヲ知ラス、大難所ナリ、山中女人堂アリテ、頂上ニ女人、登ルコトヲ禁ズ、義経記ニヨナ山ト書リ」次に、三階節の歌詞を二つ。「谷根河内の若い衆が、いもを、薯を掘らずに、米山詣りの、そそをほる」

米山は、日本三大薬師の一つであり、五穀豊穰を祈願して、近郷近在の老若男女が、春秋に、山頂の如来さまを参拝すべく、誘い合せて登山したことは、明らかである。この詞も、米山詣りに夜道をかける娘達を、一寸、失敬する若い衆が、昔は居たものと思われる。

「谷根河内や青海川、子供、米山参りや、わが身を浄む、被川」

十二才(満十一才)の初詣、被川で賽銭まで浄めて、山へ掛ったものであった。

河内(現在の川内)の村を過ぎ、眠気が襲うころ、谷根集落を通過、小杉の家並から

石仏さまの前を通り、被川に下る。

一ノ坂、二ノ坂と急登をこなし、日の出のころ、ようやく山頂に立てたものであった。今、小杉の石仏さまは、夏草に埋もれ、捜し出すことも不能となっていました。十二才の初詣は、越中立山にも、あい通ずるものがある。元服登山の山として、あるいは農事を決める山として、米山は、越後の民衆生活と、深く結びついてきた山である。

当市の、御獄山神社の先代宮司、故佐藤英夫氏の業績を、忘れることは出来ない。木曾の御獄さんに毎年参拝していた宮司に、子供たちの米山初詣の先達を頼まれたことが、ことの始まりであった。多い時には、三百名を越す少年少女が、柏崎の街を、夜も明け切らぬころ、歩いて出発したものであった。

その日、日もとっぷりと暮れ、多数の父兄の出迎えを受けた時、無事大業を成し上げた安堵からか、泣き声さえ聞こえたものであった。今も受け継がれている「御獄米山登山会」、少子時代とはいえ、幹部の一人として、その子供

の激減ぶりに、往時をなつかしむ一人である。

山頂の芽算きの掛小屋で、一杯十円の、麩の味噌汁が、なつかしい。

時代は移り、生活道路確保という名のもとに、山奥の集落まで道路が整備され、過疎に拍車を掛ける結果となってしまった、そして列島改造のブームに乗って、大平口から山頂直下まで、林道が切られてしまった。遠目には判然としないが、近くで見ると尾根筋は、今でもコンクリートで覆われ、痛々しいばかりである。また、谷根川にはダムが完成し、名勝、猿飛橋も水の底に沈んでしまった。二つ目の赤岩ダムが着工されるに当たって、赤岩沢の遡行が、学術調査の名のもとに、市より許可され、勇躍沢身に降り立ったものであった。岩魚の魚影の濃さに驚き、赤岩沢を登るにつれ、水の冷たさが、異状に感じられて来た。源流は、なんと、湧水であった。ダムのおかげで、今は水不足など、他人事のような生活を、送らせてもらっている。

ある年の夜のこと、山頂の薬師堂が落雷で全焼、その炎



が、雲の切れ間から見えたことも、忘れられない情景である。そして今、山頂には立派すぎる位の避難小屋が建てられ、四季それぞれに、登山者に憩を与えている。昨今の中高年登山者の多くなったことは、喜ばしいことだが、グループの気楽さからか、飲酒の度が過ぎ、下山途中、滑落事故を起こすにおよんでは、何をいわんかやである。

また、三百名山詣の中高年も多く、東京を始め、大阪、遠くは兵庫からも、登りに来柏されている。そんな折、三百名山を登り終えた一人として、未知の名山の情報交換に、つい、時のたつのも忘れてしまふ、今日此頃である。

大晦日に、日本海に沈む真っ赤な太陽に心をうばわれ、元旦の日の出に、手を合わせ、一年の山行の無事を祈る幸せ。深田久弥流に言えは、品格・歴史・個性を、ともに兼ね備えた、越後の名山と言うに恥じない山と、自負しているものである。



## 97文部省中高年安全登山指導者講習会に参加して

新潟県山岳協会

塚本 甲子郎

平成9年9月10日より12日まで石川県医王山スポーツセンターに於いて、表記・日山協・石川県教育委員会・山岳協会主催で行われ、参加したので概要報告します。

本県からは当会の井上勇氏及び協会外から1名の3名が参加した。全参加者33名。

9月10日午後開講式、主催者各々挨拶があり、講師の紹介があった。資料は各講義毎に配布。

講義1「集団登山にみられる中高年登山の動向」県山協副会長 西田立氏

構えて入会するような雰囲気を作るために、会名には山岳会の文字を使わない、エーデルワイスクラブに変更したら会員増になる。報告は文章化する。山の規則、マナーの指導する。人間関係の素晴らしさを教える。焚火をする、マッチ、蠟燭、食糧が無くて火が大切。岳人と一般中高年の違いを認識する。

リーダーはメンバーに正しい登山を教える。「リーダーの条件」以後資料から、リーダーとは広範囲の意味を持つている。その解釈は個人の主観によって全く受取り方が異なる。初めての人の声をかける。仲間に入れる。その日の体調でその人が後何時間保つか解るようになる。持参したものを利用して救われる。雨の山行、風の山行きを体験させる等など、豊かな人間性、たゆまない努力と積極的な行動で、多くの人々から吸収・消化し、自己の育成を目指す人の中から自然な形で生まれるリーダーこそ、条件に適ったリーダーと言える。

とは10回計算したうち、8回雨になる場合。地図を20km毎の升目に区切り、晴、曇、雨、雪の四つの天気を表す、1坪に三つ表示された場合、雨か雪でだされる。冬山で日本海に低気圧が発生した時、その全面は快晴で通過した所は猛吹雪となる。

少し長期に山に登ろうと思うときは、天気周期をつかむため10日以上前から天気図を描く(新聞掲載の天気図を利用)なり、毎日の天気を記録するなりしておく、これによって天気は周期的に変わっているのか、その周期は何日くらいか、大きな傾向は晴基調か曇り基調かをつかむ。1週間位前になったら発表される週間天気予報を聴く、毎日。登山コースにあわせて荒天対策を考えておく必要がある。

山に登りながら天気(曇)風、気温などの変化に注意し、頭の中にある天気図とそれに伴う天気モデルを思い浮かべておくことは、遭難対策ばかりでなく自然への興味を増し、登山の楽しさを増加させる。

講義2「山の天気(白山山系)その特色」金沢地方気象台技術課長 多野正一氏

大気圏 日本では10~12km降水確立1mm以上の雨量80%

講義3「初心者・中高年登山者の基礎知識(尾根・沢歩

き) 県山協理事長 西尾聡氏

中高年登山者は、それぞれの人生・環境により、その形態はいろいろです。

楽しく登る・疲れたら休む・美味しい食物を楽しむ・三つのタイプ

◎継続型(ほぼ上級者)

◎復活型(危険な中級者)

◎入門型(初心者)

中高年の体力の衰えを認識する・体力づくり 歩行技術 楽しい登山のこつ 装備 緊急時対策等

中高年登山者を指導するのは、どう対応すればよいのか、どう指導すればよいのかを適確に判断し、安全登山を第一の目的として指導すべきである。

9月11日、実技講習 8時出発 医王山を尾根、沢コースに分かれて登る。

医王の里↓西尾平↓しがら首↓覗き↓大沼(ここ迄は全員)↓白兀↓しがら首↓医王の里の沢コースに2人共入る。

非常に易しい沢であった。また、尾根コースも弥彦山・角田山程度であった。

14時より官民合同の救助訓練の見学があった。ヘリコプ



ターによる救助訓練は非常に感動と勉強になった。

その後講義と実技の質疑及び補講があった。

9月12日 講義4「中高年者の登山における病氣と怪我」

金沢大 医学部 十全山岳会 診療部門担当 松本晴彦氏

資料より抜粋 同会は山岳部OB(医師)で結成。毎年、夏の立山においてボランティア活動として、二つの山岳診療所(雷鳥沢 剣沢両診療所)を運営している。ここでも近年、中高年の受診者数は増加の傾向にある。

山岳診療にみられた40才以上の中高年者の病氣と怪我について、'95、'96年度の受診者のカルテによれば

1 病氣と怪我の分類 (内科的疾患)

・高山病……………21名

・風邪・感冒……………7名

・心臓疾患……………2名

(死亡1名)

・脳血管障害……………1名

・胃潰瘍……………1名

計……………32名

(外傷性疾患)

・打撲・切傷・挫創……………21名

・捻挫……………5名

・骨折……………4名

・関節痛症……………3名

・筋肉痛症……………1名

・熱症……………1名

・皮膚炎……………1名

・眼疾患……………1名

計……………37名

この分類から1、内科的病氣と怪我は相半ばしている。

2、高山病として分類している病氣は、標高2000m、3000mの地帯で発生しているのが、かなり多い。その症状についてよく知っておく必要がある。3、本人がもっている慢性の病氣が、山で悪くなることもある。時には致命的となる。特に心臓疾患のある人は登山は避けたほうがよい。1例は現場で死亡、1例は狭心症発作で死亡が無事下山させることができた。昨、'96年8月白山で70才の男性が心筋梗塞で死亡している。

2. 高山病について

通常2500m~3000m以上で生ずるとされているが、2000mを越えれば出現する可能性がある。まだ高所に達して時間があまり立っていない時期に、認められる身体障害です。

次の症状がある。(1)頭痛が最も多い。(2)消化器症状(食

欲不振、むかつき、嘔吐、下痢)

(3)疲労または脱力、(4)めまい、ふらつき、(5)睡眠障害

対処方法 安静臨床、栄養補給、投薬(頭痛止め、利尿剤)、軽い酸素吸入

日本の3000m程度の高所では、上記の方法で対応できることが多いが、次の症状が出た時は致命的となるので注意が必要

息切れ、呼吸困難、咳、痰、更に運動障害、意識障害=高所肺水腫

強い頭痛(鎮痛剤が効かない)、嘔吐、意識障害=高所脳フ症

早急に下山させる。

高所肺水腫 脳フ症はヒマラヤの4000m位の高度へ出かけるトレッカーにみられることが多い。日本の3000m級の高度でも出現の報告がある。下山しなければ殆ど救命することが出来ない。

原因 低気圧、低酸素、寒冷、乾燥、紫外線、他に疲労、睡眠不足、精神的緊張、年令、栄養障害、前居住地も関与等

予防 (1)日頃からのトレーニング、(2)ゆっくり高所順応

する(3000m以上では)、(3)十分な睡眠、(4)保温、(5)水分補給、まめに排尿することがよいとされている。

3. 中高年者の身体機能 年令と共に低下、閉眼片足立ちについては、20才代を100%とすれば、60才では30%脚の筋力は低下する。

持久性トレーニングを平均心拍数120~140/分を30分以上、週3回、具体的に、ジョギング、水泳、サイクリングを推奨している(浅野)

少し膝の痛みが出始めた人には、筋力をつける運動、例えば7秒間交互に膝を伸展する運動、始めは荷重をかける。

怪我については略

山での疾病発生時の対応 (1)自分達で可能な救急処置を行う (2)動かせるか否かの判定 (3)救助隊への連絡方法を考える。出来るだけ形態電話の可能性を試してみる。他のパーティーの助力を得る。スライドを使って非常に判り易かった。

研究協議第二分科会「中高年登山の事故とその対策」に参加した。

事故防止よりも対策の保険

の話に集中した。リーダー責任保証保険で1~4億保障、掛金6万円のものもあるとのこと。





# 五十周年記念祝賀会報告

田邊 信行

標記記念祝賀会を平成十年一月一八日JR長岡駅東口ホテルニューオータニ長岡にて正午に開催した。

新潟県山岳協会が五十周年を迎え、記念事業として中国・チアジャマ峰及び新発田市・蒜場山への記念登山を成功させ、記念誌を準備し記念祝賀会を実施した。

来賓一七団体二十人、協会四十団体百三十人、通訳一人の参加をいただき盛大かつ厳粛な中で開催致しました。

土田副会長の進行で開会の挨拶平田副会長、主催者挨拶藤井会長・特に忘れ難いのは第一九回春季国民体育大会や六八七kmに亘る県境縦走踏査の完遂とか昭和五六年の韓国晶元山岳会、平成四年中国青海省山岳協会との姉妹・兄弟締結による交流があり、全国の山岳団体との連携、特に北信越国体を中心とした関係山岳団体との交流の深さが上げられます。本日ここにこれら関係の深い方々の御来臨を仰ぎ協会を代表し御礼を申し上げ

げるとした挨拶があった。引き続き以下の来賓から御祝辞をいただきました。日本山岳協会会長坂口三郎様、新潟県警察本部生活安全部地域課長小熊力様、新潟県体育協会副会長長井淳夫様、韓国晶

元山岳会会長金九鉉様、中国青海省山岳協会副会長高成学様、富山県山岳連盟会長藤平正夫様、東京都山岳連盟会長山本久子様、長岡市教育長大西厚生様。続いて、来賓紹介と祝電及びメッセージを鈴木前会長が披露、乾杯を五十嵐名誉会長から盛大に行っていたが、宴となる。超満員の会場内で



主催者挨拶 藤井信協会長

宴 (風景)



祝辞 中国青海省登山協会副会長 高成学氏







万歳三唱 長野県山岳協会会長 百瀬尚幸氏

祝意を表す交流風景が展開されました。  
五十周年記念事業と日頃の交流に対し御礼の挨拶を室賀名誉会長から行っていただき万歳三唱による祝意を長野県山岳連盟会長百瀬尚幸様から頂戴し、閉会の挨拶で井出理事長が協会五十周年事業を閉めました。  
当日は①記念祝賀会次第・

参加者名簿②「新潟県山岳協会創立五十周年記念誌」を配付いたしました。  
県山岳協会五十周年記念事業実施に当たり加盟団体各位及び各会員から多大な御助力、御協力、御奉仕を賜り心から厚く御礼申し上げますと共に皆様の益々の発展を祈念いたしまして県山岳五十周年記念祝賀会報告といたします。

連絡

○評議員会

平成10年度の評議員会が左記のとおり開催されますので各山岳会の役員の出席をお願いします。

なお終了後には懇親会も予定しておりますので併せて出席をお願いします。

一、期日 平成10年4月11日

午後一時

一、場所 万代市民会館

新潟市東方代9

一、懇親会

午後五時から

○理事会

評議員会に先だち理事会を開催します。

一、期日 平成10年4月11日

午前十時

○山岳遭難共済保険の加入

平成10年度の募集を行っておりますので、事故防止の一環として大勢の加入をお願いします。

手続等の詳細については事務局に照会してください。



カムチャッカの高山植物 ⑨

むささび会 加藤明文

チシマフウロ (フウロソウ科)

分布：カムチャッカ 北米 日本



カムチャッカへこの時季に行けば誰でも逢える花。街の道路脇から空地、海岸から山岳までタンポポといっしょにいたる所で生育している。ここがこの花の故郷であるが、なるほど納得である。

ある時、サハリンや千島より日本に来た植物としてもっともわかりやすいもののひとつであろう。日本では北海道と東北の高山にあり、身近な山では磐梯山の頂上に、それもめずらしい白花が見られる。

ペトロパブロフスクの基地、ゲーセルホテル前の荒地にて花と語らう。

花の色：紅紫色（濃淡いろいろあり、たまに白花）



## 第15次越冬隊員 (48・11・25〜50・3) 奥只見山岳会会員 五十嵐高志

南極観測の草創期は、科学者の分野より越冬、設営、生活全てが未知への挑戦で、困苦欠乏に耐える身体強化した人間が資材・食糧を試してみることから始まった。

このため、山岳会、登山家の役割と期待が大きく、西堀栄三郎、村山雅美さんのように、壮大な夢を追いつづけてきた極地や探検の経験豊富な人をチームに、全国から自薦他薦の山岳関係者の中から選考された。

県山協でも佐藤(一)、加藤(勝)、藤井(信)などが候補に上がったのだが、東京との距離、勤務先の事情などと他方社会の理解度も低く実現しなかった。

回を重ね、観測部門の隊員が最前線の研究者で組織されるようになり、第15次越冬隊員として五十嵐高志氏(JAC奥只見山岳会会員)が決定した。

長岡悠久山にある国立防災科学技術センター雪害研究所で雪の圧縮粘性係数や、密度

といった基礎部門を担当する研究員である立場も幸いしたが、小出高校、日大などで山岳部に所属、卒業後も山岳会会員として活躍してきた実績も大きく評価されたと思う。

観測隊長は村山雅美、越冬隊長は村越望で、みづほ基地での越冬はインダーピラント計画に参加であり、地下百数十米の水のコアを採取し、日本に持ち帰る研究の第一回目の任務であった。

南極に眠る分厚い氷の層は、大昔の地球の大气を閉じ込めた「タイムカプセル」になっている。この氷を掘り出して科学的に分析し、過去の気候変動や火山活動などの「地球の記憶」を読み取るうというものであった。

氷に閉じ込められた気泡には、大気中の二酸化炭素やメタンなどが、どんなメカニズムで温暖化と連動するかという謎を解くヒントがあるはずだ等、帰国後に山岳協会の指導員研修会や雪害センター見学会などに、南極での体験に

ついでお話しを戴き、藤島支部長がわがことのように観測隊参加を喜ばれた第一回目の参加隊員であった。  
室賀輝男 記

### お知らせ

1、平成10年1月12日に開催された新潟県遭難対策協議会において次の報告がありました。

○平成9年度事業として  
(1) 三面から朝日連峰へのルートにある深沢橋の整備  
(2) 苗場山赤湯コースの赤湯一号歩道橋の整備

○平成10年度事業計画  
(1) 飯豊連峰実川コースの湯ノ島避難小屋の新築  
(2) 蓮華温泉から朝日岳への瀬戸川に架かる瀬戸橋の整備  
(3) 平ガ岳山頂部の木道整備

2、映彩山岳会の会長の異動の連絡がありました。  
新会長 谷中隆明

平成10年3月専門委員会行事予定

日時	行事名	会場	担当
10.2.28	理事会	新潟田市 滝谷	総務
10.2.28~3.1	冬山講習会	下越 俣倉山	指導技術
10.3.15	日山協評議員会	東京	総務

日山協・文部省登山研修所等3月行事予定

日時	行事名	会場	担当
10.3.8~12	山岳スキー講習会	大日岳殿は嶺崎山	登山研修所
10.3.15	日山協第2回理事会	東京	総務
10.3.20~22	日山協水雪技術研修会	富士山	指導

## 登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

## 大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

## 登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)